

広報

まつだい 1989/11月

第360号

■発行 新潟県松代町役場総務課 電話 松代7-2220番 平成元年11月13日



万が一の火災に備えて

町消防団の第3分団（田野倉・仙納・筋平）で火災発生を想定した演習が行われました。北山小学校を中心に行われた演習に田野倉部落の婦人消防協力隊も参加し、あつてはならない火災に備え、ホースを握る手にも力が入っていました。

ページ	今月号のご案内
2~5	町おこしへ第一歩 世田谷区と交流へ
6~7	芸術の秋
8~9	松代町の野鳥
10~11	スポーツの秋 松中駅伝三連覇
12	松代町が厚生大臣賞受賞
14	おしらせひろば

《人口の動き》 男2,692(－9) 女2,725(－7) 計5,417(－16) 世帯数1,567(－4)
10月末現在 出生1 死亡5 転入6 転出18

東京・世田谷区と交流へ

—— 町おこしへ第一歩 ——

ジュニアリーダーが

雑居まつりに参加

昭和六十一年、東京・世田谷区の羽根木公園で毎年十月に行われる「雑居まつり」に松代町から初めて「松代町ジ

ュニアリーダーズクラブ」という名前で、中・高校生のリーダー育成講座の受講生が参加しました。この講座は、町



▲ 子供たちが作った「あんぽ」はなかなかの人気

▼ アケビや栗をなつかしそうに見るお客さん



青少年育成町民会議と町教委の事業の一つで、町の青少年が非行に走らず、健全に育つてほしいという願いのもとに活動が進められています。主な活動は、リーダートレーニング（六月から月二回、土曜の午後）、小学生のキャンプの指導をするキャンプカウンセラー、食糧を自力調達するサバイバルキャンプ。そして、これらの活動に最後まで参加した子どもたちだけが参加で

きる「雑居まつり」があります。この「雑居まつり」参加は、ただ、東京見物をするだけでなく、松代にあるもの、自分たちで作ったものなどを東京に持って行き、東京の人たちに買ってもらい、そうした行動をとって少年時代に松代と都会の相違点を肌で感じさせようというものです。この子供たちの「雑居まつり」参加が世田谷区との交流への貴重な一歩となりました。

役場職員も松代町をPR

翌年の昭和六十二年から役場職員もこの「雑居まつり」に参加することになります。

総合計画推進幹事会Aグループ(当時)は、松代町のPRと都会との交流を目的に、山芋、あけび、クルミ、そうめんかぼちゃ、ぜんまいなど

松代で採れる自然の食べ物と

そば、けんちん汁、花ひさごなどの特産品を車に積み込み羽根木公園へ。品物を売るのとなど初めてながらも、都会の雰囲気やそこに集まった人々の好みなどに直接触れ、松代には得られない貴重な

体験をすることができました。

昨年からは、地域交流部会と名前を変えてこの祭りに参加してきましたが、松代で採れる自然の食べ物他、

「こんな物が良く……」と思われるガマの穂、ススキ、稲穂などを結構喜んで買って行くってくれる人が多いのは驚きです。

「ボロ市」

(12月15・16日)

「ふるさと区民まつり」(8月上旬)へ参加

都会との交流で、町のPRと町おこしができれば、との願いが今回の上京で大きく前進しました。

世田谷区に西潟徳治さん(福島出身)という方が住んでいられます。この方は事業で大変成功された方で、地元の区会議員さんとも非常に懇意な間柄。西潟さんから区会議員さんを紹介していただき、区

会議員さんの案内で世田谷区役所を訪問させていただくことができました。区役所では

助役さんはじめ地域振興課長他要職にある職員が関谷総務課長、室岡農協金融課長、役場地域交流部会員らを温かく迎えていただき、当面、世田谷区の代表的な祭りでもある「ボロ市」と「区民まつり」に松代町も仲間、というお願いを快く受け入れてもらうなど成果は上々。

現在、世田谷区ではカナダのウイニペグ市、オーストラリアのウィーン市ドゥプリング区などと姉妹都市を結んでいる他、国内では身近な所で群馬県川場村に「区民健康村」を開村するなど、国内外に広い交流が行われています。

平成七年に北越北線が完成し、スーパースペシャルが走るようになれば「世田谷区の田舎」として松代町と世田谷区の交流に大きな期待が持てるのではないのでしょうか。



▲自然の中で採れたものに
人気がありました

世田谷区役所の会議室で「区民まつり」の説明を菊地地域振興課長さん(左から二人目)から受ける。

右端は平山区議会議員



世田谷区の位置と現況



●世田谷区の人口

(単位=人)

世帯数	355,454
人口	781,131 (男 389,557 女 391,574)
人口密度 (1kmあたり)	13,282
外国人登録人口	9,493 (男 4,975 女 4,518)

(昭和64年1月1日現在)



世田谷区の花「さぎそう」
ラン科の多年生草木で、花の形が、翼を広げた白鷺を形どったような優雅な花です。奥沢鷺の谷にはこの花にまつわる哀しい伝説が残されています。



世田谷区の樹「けやき」
幹が太く、まっすぐな大木に成長するけやきは、区内各所で見られます。そびえる大木に繁茂する枝ぶりは自然の恵みである緑の象徴を見る思いです。

●面積

東京都	2166.26km ²
東京23区	601.8 km ²
世田谷区	58.81km ²

(昭和63年1月1日現在)



世田谷区の鳥「おなが」
関東平野で多く見られる鳥ですが、人家近くの疎林に小群をなして住んでいます。長い尾が特徴的で木立の間を飛び回る様はひとときわ目を引きます。

世田谷区ミニ知識

あれこれ

人口・世帯

人口は七十八万一千三百一人、世帯数が三十五万五千四百世帯(昭和六十四年一月一日)で、ともに東京都二十三区中の第一位です。

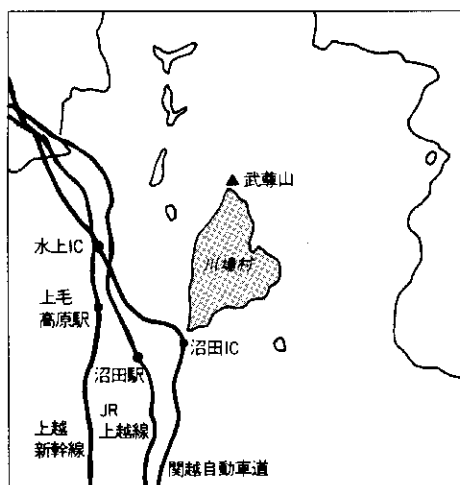
世田谷区は都心に近いうえ、交通の便の良い良好な住宅地としての性格が強く、大正の初めから急激な勢いで人口が増加してきましたが、近年、全域に市街化が進み、増加率は純化傾向にあります。

新基本計画

①高齢化社会への対応、②情報化社会と国際化時代への対応、③緑豊かな快適環境の創出、④安全で快適な都市基盤の整備、を主要課題として提案しています。

まつり・行事

区内の年中行事は、月ごと



なかのビレジ



ふじやまビレジ

●区民健康村

毎年、健康村で区内の小学校5年生が「移動教室」を体験します。また、「山村留学」や「ホームステイ」も希望者に行われています。自然とのつきあ合いを肌で感じ、心身の健康を培う場としての健康村があります。

区最大の行事「ふるさと区民まつり」(馬事公苑)



ボロロ市

季節ごとにさまざまな催しが行われています。松代町が仲間入りさせていたくことになった「ボロロ市」「ふるさと区民まつり」を簡単に紹介しますと、

「ボロロ市」
十二月十五・十六日に開催され、四百年の歴史を持つ市です。七百店もの露店が大場代官屋敷前、通称ボロロ市通りに立ち並び、市内でも有名な祭りで相当な人出となり、身動きができないほどの混雑となります。

「ふるさと区民まつり」
八月第一の金・土・日曜日。世田谷区夏の最大イベントで野外コンサート、阿波踊り、おみこし大行進などが馬事公園を会場に盛り上がります。

ふるさと物産展に、新潟県から真野町、「区民健康村」のある群馬県川場村、長野県松本市など全国から十四市町村が参加しています。松代町がこの物産展に十五番目の参加となります。昨年はこの物産店に出店している市町村間で交流会を行うなど大好評だったそうです。

芸術の秋

第八回 東頸城郡美術展覧会

芸術の秋にちなみ、十月二十一日から二十三日までの三日間、郡公民館協議会主催による第八回郡美術展覧会が安塚町民会館を会場に開催され、絵画、彫塑・工芸、書道、写真の四部門に二百点近くの作

品が展示されました。

松代町からは二十二人の方が自慢の力作を出品され、中でも書道部門で高沢優美子さんが郡展賞、彫塑・工芸部門で若井鷹之熊さん、写真部門で品田靖さんがそれぞれ奨励

賞を受賞しました。

会館全館に静かな音楽が流れる中、観賞に来た人々は展示された作品一つひとつに熱心に見入っていました。



〔書道部門〕郡展賞
鳥棲曲 (李白詩)



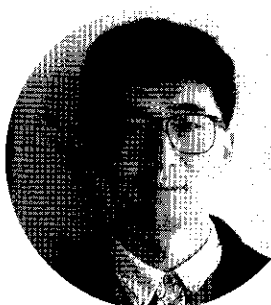
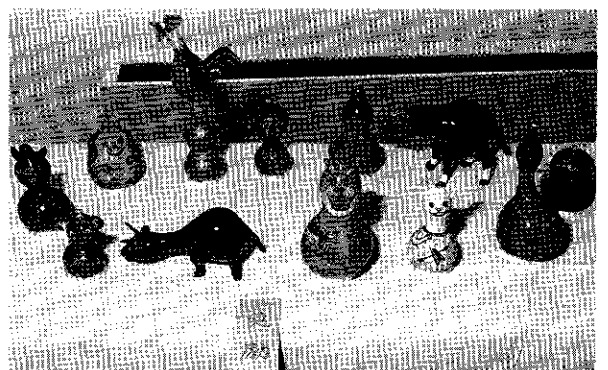
高沢優美子さん (松代)

「本格的に書道を始めたのは高校に入ってからです。今回の作品は、郡展出品のため今年の夏休み中に書きました。資格も取ることができたので将来もこれを生かしてゆきたいと思っています。」

〔写真部門〕奨励賞 「スイカ早喰い競争」



〔彫塑・工芸部門〕奨励賞
「夢追いひょうたん」



品田 靖さん (松代)

「観音祭の時に撮ったもので一番気に入っていた写真です。(郡展に)出してみないかと言われ初めて出したのですが、結果を聞いて「参加賞」程度にしか考えていなかったのが名誉ある賞なので今でもびっくりしています。」



若井鷹之熊さん (蓬平)

「六十歳で出稼ぎをやめ、好きだった絵を本格的にはじめました。瓢箪は紙に描くのとちがいが難しいですが、それだけにやりがいがあります。絵を描くことは楽しいだけで、少しの苦勞も感じません。」

18年目のおらが美術展

古田 洋 司 (蒲生小)



「ぶなの会美術展? 山毛櫨の品評会かと思って来たが、どこにも山毛櫨は飾ってないんがの。」これは昭和47年11月、第一回展をした時の話です。

「この松代で町の人に喜んでもらえる美術展をしたい。」と言いつ出したのが、当時、蒲生小教頭柴田貞夫先生、松代中横尾昭司先生、松代小古田の三人。市川明治校長先生に相談したら「大いにやってほしい」と激励されました。

まず、展覧会の名称は「ぶなの会美術展」これは柴田先生の命名。みんなが賛成!

さて会の構想、①現在町に勤務している美術愛好の先生が中心になろう。②かつて松

代に勤めた先生方に必ず出品してもらおう。③地元の愛好家・高校生から一人でも多く参加してもらおう。ゆくゆくはこの方々が中心になれるのだから。こんな考えで、市川校長先生を会長にして元氣よく出発しました。

嬉しかったのは、当時の関谷昭平公民館長さんが総合センター三階の使用を確約してくれ、しかも、あつという間にパネル板を作ってくださったことです。以来ずっとこの良い場所を確保してくださっている松代町の行政の心意気に一同感激しています。

この展覧会の特徴は「油絵、日本画、水彩画、彫刻作品も

ある。具象から抽象、趣味の楽しさから作家の厳しさまで、いろとりどり。そこが面白いんだ。」と言われることです。或る人は「こんなバラエティに富んだ質の高い展覧会は上越市にもない」と。

また、「若い時におられた先生の絵久し振りに見た。先生はこれんのかい。」と懐しがってくる声も聞かれました。「松代町の想い出が良かったからか、皆さん喜んで出してください。」これは毎年上越市方面へ作品を受けとりに行き、返しに行ってくれる井上政身先生の弁。先生を中心に誰かがいつも協力してくれるから長続きしているのではないのでしょうか。

昨年、出品者が「たまには松栄館に泊めてもらっていっぱいやろう。」と集まりました。日報も今年は是非取材に行きたいと言ってくれます。地元では本格的に勉強した

山岸統さん、津幡潔さんがホープ。どなたでも気軽に出品して仲間の輪を広げましょう。町民の皆さん、毎年11月3日総合センターの三階。これからも大勢見てください。



松代町の鳥

シリーズ ③③

カルガモ

松 永 洸

日本で繁殖する数少ないカモの中の代表的な存在のカモで、「地ガモ」とか「カル」と呼ばれ、ところによつては「クロガモ」などと方言で呼ばれている本種は、松代町に一年中生息しあちこちの池や渋海川などで観察されます。

と苗代や田植後の水田に入つて苗を倒したり浮かせたりという害を与えるため有害鳥獣駆除の申請が農協や市町村役場から出され、猟友会に委託して毎年駆除され、その数も有害駆除だけで五千羽位も捕殺されているのです。

本種を垂直分布的に見ますと、標高八〇〇メートル以下の水田、沼、河川に生息し、特に海岸部に多く見られます。本種を分類しますと、ガンカモ目ガンカモ科に分類され松代町では、ガンカモ科の鳥は本種のほかオシドリ、マガモ、カワアイサが観察されます。方言でクロガモと呼ぶところもありますが、同じガンカモ科に、クロガモと正準和名のついた海に生息するカモがおりますがこれとは別の種です。

カルガモは、他のカモ類が雌雄異色であるのに対し、めずらしく雌雄同色で、全体は褐色で黒褐色の斑があり、顔は淡色で特徴のある二本の黒線があります。体の後の方に行くほど黒色味が強く、嘴先端は橙黄色で足は橙色と地味な色彩をしています。全長は約六十センチメートルの大きさです。

食性を見ますと、イネ、ノビエ、タデ、ミズヒキの種子とノブドウ、ノイバラ、ヌルデなどの実などの植物質が中心で、動物質のものとしてはゲンゴロウ、ミズカマキリ、

タニシ、シジミ、ザリガニなどを食べます。また小魚を食べることも観察され報告されています。筆者も一九八五年夏に高田公園の北城高校前のお堀の浅瀬で十数羽の群の一羽が、群になつてゐるオイカワをしつこく追いまわしてとらえて食べてゐるのを観察しました。カルガモにとつて魚は効率のよい獲物ではないようです。筆者自身カルガモは植物質のみと思つていましたが、あされるほどのしつこさでオイカワを追いかけて最後に捕食したのにはビックリした記憶があります。採餌は夕方から夜間で、昼間は池、川、沼、海などで休んでおります。鳥は「トリ目」と思われがちですが一部の鳥(ニワトリなど)を除いては、夜間も目が見えるのです。このことは、今年二月のシリーズ②④のフクロウの項でその理由を書きましたので参考してください。

カルガモの繁殖は、六月ころから八月ころにかけて行われ、巢は湖沼、河川、海岸、池などに近い草原や竹やぶなどに外径二〇センチメートル



交通事故

多発

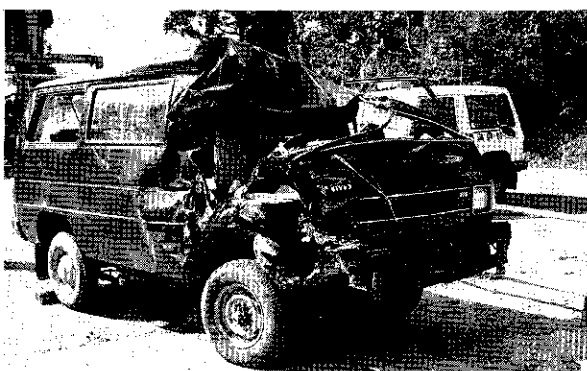
秋の深まりとともに日没が早くなり天候も不順になつてまいりました。

例年、この時期に交通事故が多発しております。次のような点に注意してく

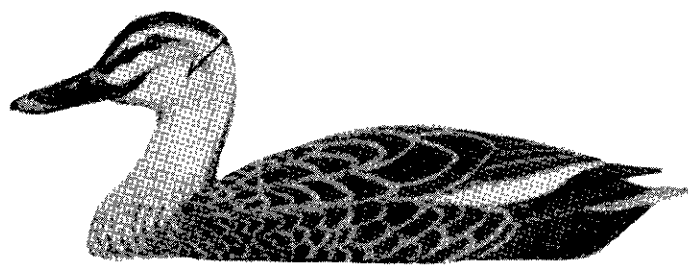
- ◎ ライトは、早めにつけましょう！
- ◎ 夜間は、スピードを控えめに運転しましょう！
- ◎ 正しい横断をしましょう！
- ◎ 明るい色の服装を身につけましょう。

只今、交通事故による県内の死者数は二百人を突破。松代町でも去る十月二十七日午前、大久保線を登りきったカーブの地点で車同志が衝突し重傷者一名が出る事故が発生しています。

松代町での交通事故件数は昨年よりはるかに多く、極めて優慮される状態にあります。町民一人一人が交通安全意識をもち交通事故を無くするとともに松代町から絶対に死亡交通事故を出さないようご協力をお願いいたします。



▶ 十月二十七日に起きた事故
運転手は重傷、車も大破



カルガモ

から三十センチメートル、深さ八センチメートルから十二センチメートルの皿型の窪地を作り枯草や自分の羽毛を抜いて敷いて作り、中に象牙色がかった白色の卵を十〜十四個産み抱卵します。抱卵中や雛を連れている時に外敵が近づくと、卵や雛を守るため、親鳥が傷ついて飛べないような格好をして、翼をバタつかせたり、一〜二メートル飛んでは他方に落ちたりという行動を取ります。これを「擬傷」

と呼んでいます。カルガモだけでなく、他のカモ類、チドリ類に見られる行動です。外敵が負傷した鳥と思い捕えようとすると、またパツと距離を取って擬傷し、雛や卵から外敵を遠ざけて守っているのです。

カルガモの雛ですぐ思い出すが、テレビ・ラジオ・新聞などで毎年報道される、東京大手町に建つ三井物産の人工池のカルガモの親子がいます。コンクリートで囲まれた町中でよく繁殖していると感心しますが、このカルガモの巣がみつかったのはこれまでに二回で、その一回は偶然にビルの清掃員が池のほとりの高さ六メートル直径六メートルの円筒形をした排気筒の上部に生えた、ツタの葉の茂みにあるのを発見したというもので、六メートルの高さからどのようにして雛が人工池に移動するのかわかっていません。またなぜ人の多いところに巣を作り雛を育てるのかもわかっていませんが、ツバメが家の中に巣を作り子育てをするのと同じ理由と説明する

人もおります。それは人の生活に近いところで子育てをすることができるといふことです。ちなみに皇居のお濠りのカルガモと比較すると雛の死亡率は繁殖初期では、〇〜一〇％でお濠りのカルガモより死亡率は低く、これは死亡率の高い繁殖初期に観衆の多い人工池で子育てすることにより天敵から雛を守り、ある程度成長した後にお濠に移動することが賢い子育て方法であるのです。しかしお濠に移動後の死亡率は高いということとです。鳥も動物も子育てには氣を使い一羽、一匹でも多くの子孫を残す努力をしているのです。そのための子育て方法をいろいろ考へ（？）ているようです。

今年も、たくさんのカモ類が渡って来ました。これからが冬鳥の観察に最適な時期です。最後に長塚節の歌でこの項を終ります。

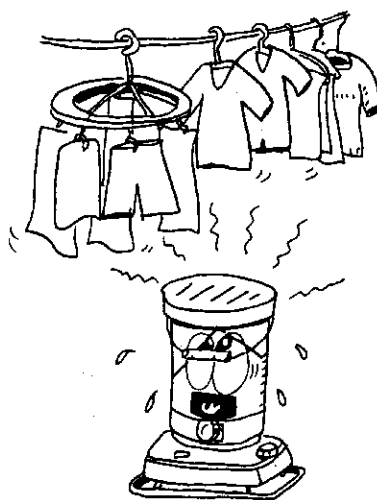
葦の辺の

鴈おもしろき近江の湖
鳴うく秋に

なりたけるかも

暖房器具による

火災を防ごう



毎年この時期になると新聞紙上に暖房器具による火災の記事が目につくようになりま

す。これらの火災の大部分はちよつとした不注意やミスにより発生しています。

日頃から火気使用器具の手入れと点検を実行してください。

一、対震自動消火装置付のものを点検整備してから使用する。

二、使用場所のまわりにカーテンなど燃えやすいものはないか。

三、火をつけたまま給油した

り持ち運びをしない。

四、洗濯物を干すなどの目的で使用しない。

五、出入口や通路には置かない。

六、間違った燃料を給油しない。

七、お出かけ前やおやすみ前には必ず消火を確認する。

◎火災多発

残念ながら松代町では今年に入って3件の火災が発生してしまいました。今一度火災の恐ろしさを認識し無火災記録が続くよう一人一人が注意してください。

東頸城郡中学駅伝大会

松代中(男子Aチーム)三年連続八回目の優勝

十月五日行われた第二十六回郡中学駅伝大会で、松代中男子Aチームが期待にこたえ、三年連続八回目の優勝を成しとげました。

男子の部は、郡内七校十三チームが出場し、松代病院前から安塚中学校までの三十一・六キロを九区間に分けての競争で、松代中Aチームは第一区からゴールまで一度もトップの座を譲ることなく、安定した走りで他校を寄せつけずにゴールイン。

一方、大島村役場前をスタートし、男子と同じコースで行われる女子の部は今回で三回目。過去二度の連続優勝の実績を持つ松代中チームに注目が集まりましたが、結果は惜しくも五位入賞にとどまりました。

なお、郡大会優勝の松代中男子チームは、十月二十三日に行われた上越地区中学校駅

上越地区大会でも六位入賞

伝大会に出場し、二十四校中六位に入賞という輝かしい成績をおさめました。

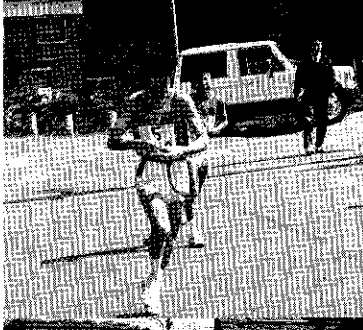
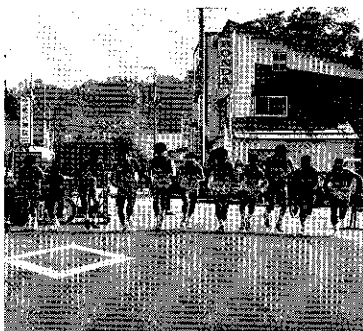
郡大会の成績

(男子) 九区間、31・6キロ

①松代A	1時間48分45秒
一区 松代	池尻 32*
小堺 健	10分56秒 1位
二区 池尻	室野 40*
若井憲一	13分12秒 1位

三区 室野	峠 33*
若井春彦	12分37秒 3位
四区 峠	中野 33*
高橋正義	9分38秒 1位
五区 中野	岩倉 35*
山岸正光	11分21秒 1位
六区 岩倉	長者島 35*
山岸裕樹	12分23秒 4位
七区 長者島	下猪子田 39*
富沢 豊	14分13秒 4位
八区 下猪子田	松崎 32*
小堺友紀	11分25秒 3位

九区 松崎	安塚中学 37*
山岸 孝	13分0秒 1位
②安塚A	1時間51分18秒
③松之山A	1時間52分45秒
④牧A	⑤大島 ⑥浦田
(女子) 四区間	14・3キロ
①安塚A	57分55秒 ②大島
A ③牧A	④大島B ⑤松代A
1時間1分45秒	



▶1区松代

▶6区岩倉

▶2区池尻

▶7区長者島

▶3区室野

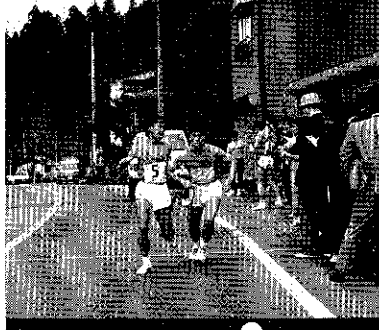
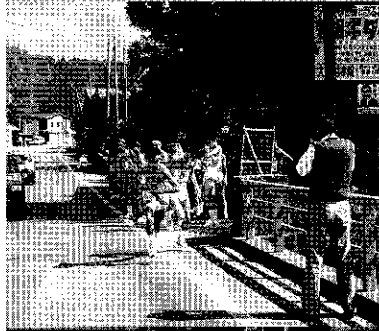
▶8区下猪子田

▶4区峠

▶9区松崎

▶5区中野

▶ゴール安塚中学



スポーツの

秋

第11回 町民健康マラソン大会

——十月八日・町総合グラウンド——

〔一キロ〕——小一・男子——

- ①宮沢健二(松) 3分23秒
- ②宮沢秀志(〃) 3分30秒
- ③樋口敏幸(〃) 3分31秒

〔同〕——小一・女子——

- ①山岸智美(孟) 3分45秒
- ②齊藤奈緒美(北) 3分46秒
- ③山賀由佳(松) 3分47秒

〔同〕——小二・男子——

- ①鈴木栄哉(松) 3分7秒
- ②茂野 収(〃) 3分9秒
- ③柳 大輔(孟) 3分10秒

〔同〕——小二・女子——

- ①鈴木麻子(松) 3分20秒
- ②瀬沼美久(〃) 3分21秒
- ③石田智絵(孟) 3分23秒

〔同〕——一般——

- ①高橋美枝子 3分53秒

〔三キロ〕——小三・男子——

①小堺強司(松) 11分8秒

②柳 芳徳(〃) 11分10秒

③若月知広(孟) 11分21秒

〔同〕——小三・女子——

①池田 茜(北) 11分12秒

②池田友紀子(〃) 11分57秒

③齊藤由香里(〃) 12分1秒

〔同〕——小四・男子——

①田辺一幸(蒲) 9分34秒

②小堺 豊(蓬) 9分52秒

③山岸雅史(蒲) 10分32秒

〔同〕——小四・女子——

①西潟幸子(奴) 10分49秒

②仲村 瞳(儀) 11分53秒

③井上さやか(蒲) 12分6秒

〔同〕——中学・女子——

①池田智美 11分9秒

②村山尚子 11分20秒

③若月まさえ 11分24秒

〔三キロ〕——小五・男子——

①茂野 究(松) 11分18秒

②鈴木紀夫(松) 11分23秒

③高橋真治(助) 11分35秒

〔同〕——小五・女子——

①高橋陽子(助) 12分16秒

②高橋知美(〃) 12分 秒

③村山亜紀子(奴) 12分42秒

〔同〕——小六・男子——

①嶋田健太郎(松) 10分34秒

②井上真吾(蒲) 10分35秒

③馬場茂寿(〃) 10分48秒

〔同〕——小六・女子——

①村山洋子(奴) 11分16秒

②松沢悦子(儀) 11分55秒

③柳 亜紀子(松) 12分11秒

〔同〕——中学・男子——

①柳 昭平(三) 10分12秒

②小堺良次(〃) 10分17秒

③小堺陽一(〃) 10分53秒

〔同〕——中学・女子——

①山岸利美(一) 12分17秒

②五十嵐里美(一) 12分18秒

③植木理絵(二) 12分24秒

〔同〕——高校・女子——

①丸山志穂(一) 10分50秒

②柳 明美(二) 12分52秒

③柳 智子(一) 12分53秒

〔同〕——一般・男子——

①佐藤信一(室野) 11分3秒

②山岸 進(蒲生) 12分19秒

〔五キロ〕——中学・男子——

①若井憲一(三) 16分57秒

②小堺 健(二) 17分22秒

③若井春彦(二) 17分22秒

〔同〕——高校・男子——

①中島太一(一) 17分22秒

②室岡正宏(一) 17分56秒

③井上 元(一) 18分0秒

第10回

町長杯争奪

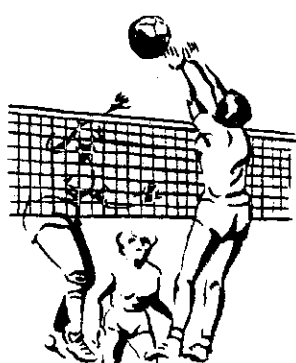
バレーボール

大会

去る、十月十日体育の日、松代町総合体育館において、第十回町長杯争奪バレーボール大会が開催されました。今回で十年目を迎えた本大会も七チームの参加をいただき熱戦を繰り広げていただきました。

結果は、次のとおりです。

優勝 黒姫連合会
準優勝 松代ロージン会
第三位 バレー熱狂者達
第四位 吉沢光学

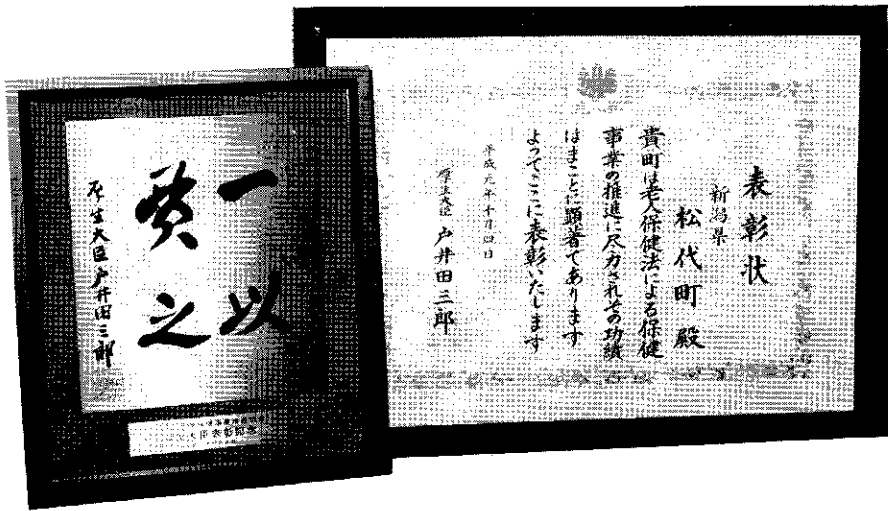


松代町が

厚生大臣表彰受賞

平成元年度健康事業推進功
労団体として、去る十月四日
厚生省講堂において戸井田厚
生大臣より表彰状が授与され

ました。松代町は昭和五十九
年、県内でも屈指の総合体育
館が完成したのを機に、町民
の健康診査を総合検診方式に



改め会場を総合体育館に移し
ました。

「町の活性化は町民の皆さんの健康づくりから」を合い言葉に健診事業を進め、受診カードの作成やバスによる送迎等も実施して参りましたが、受賞の対象となった受診率の向上は、町民の皆さんが検診によって自分の健康状態をチェックする意識の向上が第一で、二番目は町内の医療機関のご支援とご協力です。三番目は各部落の区長さんや食生活改善推進員さん、保健衛生推進員さん等町ぐるみ総力を結集していただいた功績が認められたものです。

健康診査の受診率

全国平均 三〇・一%

新潟県平均 二四・三%

松代町 八一・二%

そのほか乳がん検診が県内で第二位で各検診が上位を占めております。

「健診を受診で安心、わが家の笑顔」が医療費の節減となり、町の活力源となりますので今後一層のご理解とご協力をお願いいたします。

儀明に待望の信号機が点灯



の望みが安塚警察署の力添えにより実現しました。

十月十三日の点灯式には、佐藤安塚警察署長、小嶋交通課長、関谷町長が出席。町長に抱かれた小堺綾子さんがスイッチを入れると(写真)点滅信号から正常作動に入り、集まった人たちが一斉に拍手し信号の点灯を喜びました。

国道二五三号線の改良にともない町内を通過する車の量が大幅に増え、歩行者の安全確保のため信号機の設置を、という儀明地区の人々の長年

奴奈川小学校に 県警本部長から表彰状 町交通安全指導員に 県安協会長から表彰状

奴奈川小学校(村沢真琴校長)と町交通安全指導員(小島芳映隊長)に県警本部長と

県交通安全協会長連名による交通安全功労団体表彰が送られた。両団体とも日頃の交通安全に対する積極的な取り組みが認められ今回の受賞となりました。

交通安全チラシコンクールでアイデア賞

秋の全国交通安全運動に際し行われた県のチラシコンクールで、町と安協で作成した

チラシがアイデア賞を受賞しました。

高齢化社会に向けて 家庭での看護と介護を 身につけませんか

— 家族ぐるみ・地域ぐるみの支援体制をめざして —

高齢化社会といわれる現代ですが、近ごろこの辺りでも、切実になってきているようです。現に、病院は長く入院することができませんので、家庭で看護するケースが増えていきます。そうは言っても、自分のこととしてピンとこないのですが、現実としてそこまでする忍びよっていることは確かなのです。

さらに、これまで病人を看るのは、妻であり嫁であり娘

ひ、ご参加ください。

女性はもちろん、男性も

※お問い合わせは役場衛生係

まで。

教室では、介護する立場にな

ったり、介護される立場にな

ったりし、両者の気持ちに

できるだけ近づけたらと思

います。

そこで、少しでも多くの方

に、家庭での看護・介護に

して知っていただきたいと思

います。

必要な分散させていくことが

必要になっていきます。

一人に集中していた負担を

らかの形で協力し、時には、

親戚や近所の人の手も借りて

ます。つまり、家族全員が何

であつたのが、現在では加

て、夫や息子が看ていかな

ればならない時代になって

ます。つまり、家族全員が何

らかの形で協力し、時には、

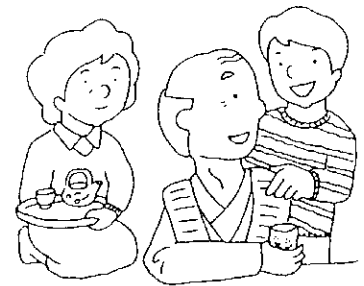
親戚や近所の人の手も借りて

ます。つまり、家族全員が何

であつたのが、現在では加

て、夫や息子が看ていかな

ればならない時代になって



痴呆老人上手なお世話介護教室

(痴呆老人について学び対応を考えます)

日 程	内 容	担 当 者
第1日目 12月1日 (金)	8:30～ 9:30 受付・オリエンテーション その他	保 健 婦
	9:30～10:00 開講式	
	10:00～10:40 町の老人の現状と問題点	
	10:40～12:00 グループ討議・自己紹介 *体験発表 *町の現状・体験発表を通して感じたこと問題点を考える	
	1:00～ 3:00 講 義 「痴呆老人の理解とその予防」	
第2日目 12月6日 (水)	8:30～ 9:30 受付・オリエンテーション その他	保 健 婦 栄 養 士 保 健 婦
	9:30～11:00 困ったときの解決法	
	11:00～12:00 老人の食事と介護	
	1:00～ 1:40 痴呆老人看護ポイント	
	1:40～ 3:00 痴呆老人の日常生活の介護	
第3日目 12月18日 (月)	8:30～ 9:30 受付・オリエンテーション その他	保 健 婦 福祉事務所 ソーシャル ワーカー 精神相談員
	9:30～11:00 痴呆老人看護の実際	
	11:00～12:00 医療・福祉サービスについて	
	1:00～ 1:40 地域の取り組みの現状について 一地域及び家族の痴呆老人の支援一	
	1:40～ 2:30 グループ討議	
	2:30～ 3:30 反省会 閉講式	

家 庭 看 護 教 室

(家庭看護の基本を学びます)

日 程	内 容	担 当 者
第1日目 11月14日 (火)	8:30～ 9:00 受付・オリエンテーション 開講式	保 健 婦
	9:00～ 9:30 町の老人の現状と問題点	
	9:30～11:20 グループ討議・自己紹介 *老人を看ていくに当たりどんな問題があるか(苦労) *自分が病人になった時どんな看護をされたいか *教室に望むこと *体験発表	
	11:20～12:00 町の福祉サービスについて	
	1:00～ 2:00 看護の心・注意点 2:00～ 3:30 看護の実技 (用具の紹介など)	
第2日目 11月30日 (木)	8:30～ 9:00 受付・オリエンテーション	看 護 婦
	9:00～ 3:30 看護の実技 *足浴・洗髪・シーツ交換・寝衣交換 *清しきなど	
第3日目 12月12日 (火)	8:30～ 9:30 受付・オリエンテーション	保 健 婦 栄 養 士 医 師
	9:00～ 9:40 救急法	
	9:40～10:30 看護者の健康	
	10:30～12:30 食事について (調理実習・介護実習)	
	1:30～ 2:30 講 義 「老人の心と、体の特徴と病気の特徴」	
	2:30～ 3:30 反省会 閉講式	

年金の支払・振込通知等に シールが貼付されます

年金受給権者のプライバシーを保護するため、年金の支払・振込通知書等の年金額等の記載部分にシールが貼付されることになりましたのでお知らせします。

具体的には、次のとおりです。

「支払通知書・振込通知書」

●障害及び遺族に係る年金
↓今年10月支払分から実施

●障害及び遺族に係る年金
以外のすべての年金
↓来年(平成2年)2月
支払分から実施

「未支給決定通知書」

今年10月支払分から実施

「公的年金等の源泉徴収票」

平成元年分(平成2年1月送付予定)から実施

「年金改定通知書」

●障害及び遺族に係る年金
↓今年10月以降に送付する分から実施

●障害及び遺族に係る年金
以外のすべての年金
↓来年(平成2年)2月
以降に送付する分から実施

※シールで覆う印字項目は、別図1・2・3の斜線部分です。

※シール表面には、別図4のとりの表示がされています。

別図1

国民年金・厚生年金支払通知書 郵便はがき

あなたの年金は、下記のとおり支払われます。

年金の種類	支払額	支払日
国民年金	1,200円	10月15日
厚生年金	3,500円	10月15日
合計	4,700円	10月15日

受領者 氏名 住所 電話番号

送付先 日本銀行本店

東京中央局 料金後納郵便

見本

別図2

国民年金・厚生年金支払通知書 郵便はがき

あなたの年金は、次のとおり変更されました。

年金の種類	変更後の支払額	変更後の支払日
国民年金	1,200円	10月15日
厚生年金	3,500円	10月15日
合計	4,700円	10月15日

受領者 氏名 住所 電話番号

送付先 日本銀行本店

東京中央局 料金後納郵便

見本

別図4

国民年金・厚生年金支払通知書 郵便はがき

大切なお知らせです

社会保険庁

送付先 日本銀行本店

東京中央局 料金後納郵便

見本

別図3

国民年金・厚生年金保険 年金改定通知書 郵便はがき

年金の改定通知書

年金の種類	改定後の支払額	改定後の支払日
国民年金	1,200円	10月15日
厚生年金	3,500円	10月15日
合計	4,700円	10月15日

受領者 氏名 住所 電話番号

送付先 日本銀行本店

東京中央局 料金後納郵便

見本

「松代百景」写真募集

四季折々、素晴らしい表情を見せてくれる松代町の自然をカメラに収めてみませんか？

ぶなの緑が眩しい春、その色を深めてゆく夏、紅葉の映える秋、白一色の世界に包まれる冬、どれをとっても一枚の絵となります。

左記により募集いたしますのでふるってご応募下さい。

冬期間雪のために安塚警察署へ行けない方は特例更新も

11月運転免許更新

- とき 11月17日(金) 午前9時～午前11時
- ところ 町総合センター大ホール
- 対象者 期限が11月17日から12月17日までの人と、冬期間雪のため安塚まで行くことが困難な人。
- 持ち物
 - ・写真1枚・収入証紙2,400円分
 - ・免許証・協会費1,500円
 - ・安協発行のお知らせハガキ
 - ・印鑑(特例更新者のみ)
- ※特別講習会が午後1時からあります。来年の11月16日までに期限が切れる人で、講習を受ける必要のある方は受講して下さい。1年間有効です。
- お問合わせ 安協松代支部事務局 ☎7-2220

ひと

活力ある松代町をめざして

柳 邦夫さん (片桐山)



広報で紹介された町民対話集会の質問や要望を見て「活力ある松代」を現実のものとするには相当厳しい道程を要すると感じました。

それは、長く続いた過疎化

の流れの中で、町民の意識が活性化どころか自信のない不安の生活を、国や町から助け守ってもらいたいとお願している、そんな姿しか思い浮かばないからです。もともと過疎化がおきたのは、国の工業化・減反政策等によるものですが、それに拍車をかけたのは私達の世代以上の人達皆んなに責任があると思います。都会との賃金格差が、大きくなるなか、農業経営への先行不安・豪雪地での生活不安等で、自らがこの町での生活に自信を失ない、松代に住んでいたかも知れない後継者を都会へ、都会へと送りだして現在に至りました。今、この時期に失った自信を取りかえし、過去を切り捨て、意識改革を

して心に活力を呼びもどす必要があります。道路・生活環境は町や関係各位の努力のおかげで改善されて来ています。一番改善されずに残ったのは、町民とりわけ私達の親の世代の意識のようです。

「活力のある松代」づくりには、皆が「過疎は防止でき、活力ある松代ができる」そう信じて自信と希望をもつことが一番大切なことです。

帰って来たくもないせがれや娘に町が補助金をだしたり、職場をさがしてやつたり、お願いして住んでもらうより老人が多くなった方がいいじゃないですか。元気で活力のある老人なら。そして、これから育つてゆく後継者が、この町に定住できるよう教育や広報活動

をし、何よりも手本となるよう私達も頑張らなければなりません。

最後に、松代に住む六十代、七十代の人達はこの町で一番人口の多い世代です。

「老人パワーで村おこし」

元気な老人達が松代に活力」こんな見出しが新聞にのるよう頑張ってください。

編集後記

先月号から「ひと」をシリーズで始めてみました。前回のヤング広場での反省をもとに、次号で出ていただく人も前の人に決めてもらい、リレー方式でお願いしています。題材もまったく自由、年齢制限なし、男女かまわず、文章の上手下手気にせずに気楽に読めるコーナーにしたいと考えています。あなたのところに順番が回ったらよろしくお願いします。▼平成元年もゴールまであとわずか。年末に向い何かと気ぜわしくなりませんが、健康と事故にだけは気をつけたいものです。

戸籍の窓口

幸せ多い人生を(結婚)

松山一郎・金 永玉さん

(大伏・あめや)

若井寛一・楊 壽原さん

(蓬平・喜兵衛)

若井秋芳・金 順今さん

(蓬平・池乃窪)

相沢栄一・若井こずえさん

(太平・桃屋)

富澤石一・五十嵐里子さん

(小荒戸・石田屋)

げんきなよい子に(出生)

鈴木瑞紀さん・修・房子さん

(二女・松代・成田屋)

関谷絵梨・靖・紀子さん

(二女・松代・三笠屋)

柳 紗千香さん・雅樹・広美さん

(長女・松代・釜田住宅)

柳 隼人さん・晴夫・美智子さん

(二男・大伏・いけのくぼ)

二冥福を祈ります(死亡)

小堀博文さん 59歳

(儀明・稲葉屋)

石野喜一郎さん 87歳

(本和田原・干場)

小島四郎治さん 78歳

(大伏・仁左衛門)

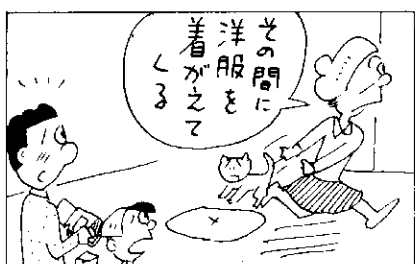
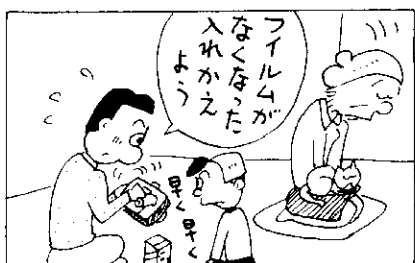
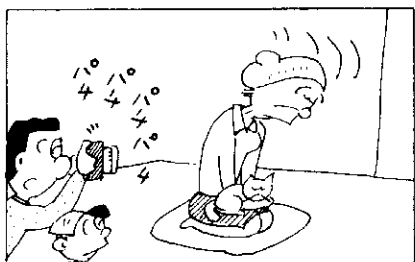
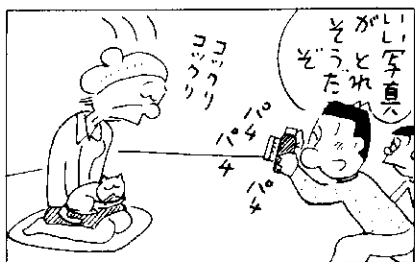
佐藤教美さん 50歳

(室野・ていつ)

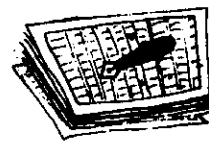
(9月21日・10月20日受付)

君かやわさ

西村 宗



俳句



文

芸

作柄は可も不可もなし稲架崩す

枯水

夜業の灯一つ點りし作業場

草人

五年目といふ休耕田草紅葉

去水

搗きあがる新米白米手に掬ふ

紅茶

ポケットを払へば柴栗ころげ落つ

公明

秋夜長文々としたためり

八千代

無月とは知りつつ窓を開けて見し

淡水

秋深し米山々頂澄みわたり

世香

敗荷や掘る当てもなき休耕日

たつお

秋桜日傘下されし大藁屋

昌弘

秋晴や路地に幼き絵師の群れ

喜沙

白鷺が刈田に降りて餌を漁る

一元

秋天の青きに実る大銀杏

六花

村なかに狸棲みつく十三夜

耕山

朝虹を背に白々と秋桜

鐵堂

脱穀も終えて静かに野沢伸ぶ

ふさ女

すぐそこに冬の気配や温め酒

耕人

栗拾ふ孫はどん栗ばかりなり

泥水

主もなきいちぢく一つ熟れてをり

折人

天高し無傷に掘り出す山の芋

翔山

指に胼胝太らせ終はる秋仕末

月日

短歌クラス会 草野 和作

戦場の兵に負けるなど撰りたる

教師を肴にクラス会はずむ

少年の記憶いきいき蘇る小学唱歌

を歌うクラス会の席

戦場の兵に負けるなど叱られつつ重炭

背負いき女子の生徒も

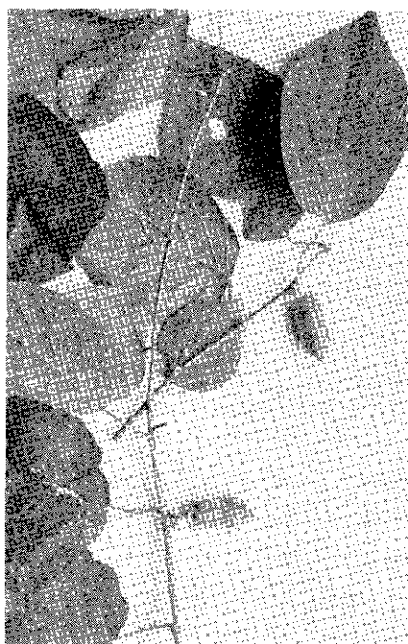
離村して実家持たざる二人の友わが

つぐ酒に酔いては歌う

野になる実

マタタビ

マタタビ科のつる性落葉木。全国里山から深山まで、山林に生える。茎は長く伸び、樹木にからんでよじ登り、互いにかみあつてやぶ状になる。

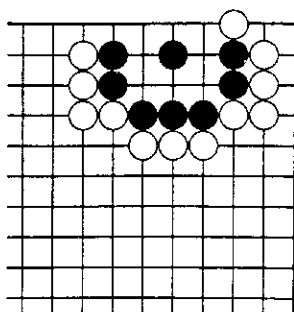


葉は心臟形。初夏、花の咲く頃に葉表全部または一部が銀白色となる。実は夏から秋に未熟で青みの残るものを塩漬とする。またはホワイトリカーなどに漬け、果実酒とする。別名ナツウメノツルウメネコナブリ、ネコヅルなどによぶ。

詰

● 黒先活・3手まで
● ヒント：左右同形中央に手。
3分で2級、1分以内で有段者。

出題 九段 武宮正樹



● ヒント：左右同形中央に手。
3分で2級、1分以内で有段者。

